

# 第84回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(徳島)

徳島県 建設部門

大村 史朗

OOMURA Shirou

四国建設コンサルタント(株)



## 1. セミナーの概要

2022年12月17日(土)に、徳島市のホテル千秋閣にて、第84回CPDセミナー・『公開講座』・防災セミナーを開催しました。あわせて懇親会も開催しました。

セミナー参加人数は35名(うち一般参加者0名、WEB参加者10名)、また懇親会参加人数は18名でした。

表1 プログラム

### 1. 開会 (13:30~13:40)

開会挨拶 (公社)日本技術士会四国本部  
本部長 古野 隆久

### 2. CPDセミナー (13:40~14:40)

演 題:『コンクリート構造物の維持管理における非破壊試験の活用』

講 師:徳島大学大学院  
研究教授 渡邊 健氏

### 3. 公開講座 (14:50~15:50)

演 題:『今から ここから 私から  
持続可能な地域づくりを考える』

講 師:四国大学短期大学部  
教授 加渡 いづみ氏

### 4. 防災セミナー (16:00~17:00)

演 題:『熊本地震における  
インフラ復旧の取組み』

講 師:国土交通省四国地方整備局  
道路部長 鈴木 学氏

### 5. 懇親会 (17:10~19:00)

- (1) 開会挨拶 四国本部事業委員長 豊崎 裕司
- (2) 乾 杯 四国本部会計幹事 菊池 昭宏
- (3) 中 締 め 四国本部防災委員長 天羽 誠二

## 2. 開会挨拶 古野本部長

四国本部古野本部長の開会挨拶で始まりました。



写真1 古野本部長の開会挨拶

## 3. CPDセミナー 渡邊 健氏

CPDセミナーは、徳島大学大学院 研究教授 渡邊 健氏より、非破壊試験の活用方法についてご講演を頂きました。

初めに、コンクリート構造物の役割、歴史、また我々の経済発展に大きな役割を果たしたことをわかりやすく説明して頂きました。

次に、維持管理の背景・現状として、米国、日本の状況を対比しながら老朽化対策、またコンクリート構造物における非破壊試験の適用を示し、その重要性を明らかにされました。ローマ帝国もローマ街道の修理・修復に苦心したとのこと。

続いて、非破壊試験の研究紹介として、プレストレスト・コンクリート部材の超音波による応力度評価、シリンダー法による簡便な透気性評価、多点測定による品質評価、またパターン認識を用いた各種非破壊試験の統合と補修効果の評価について、開発時の逸話を交えお話いただきました。

最後に、将来ビジョンとして近未来のDXによる維持管理とその取組み、またバックキャスト(未来の姿から逆算して現在の施策を考える

発想)の重要性を示し、講演をまとめられました。



写真2 渡邊 健氏のご講演

#### 4. 公開講座 加渡 いづみ氏

公開講座は、四国大学短期大学部 教授 加渡いづみ氏より、今私たちができる持続可能な地域づくりについてご講演を頂きました。

ご講演では、コロナ禍による地域社会の変化として「タイムパフォーマンスと安心感の重視」を挙げたうえで、消費の対象が、従来のモノ、コト、ヒトから、パーパス(目的)に移りつつあると述べられました。また、SDGs が地域の課題解決に繋がることを示したうえで、ヒトや社会・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)が、消費者側の意思表示として企業の行動選択に影響を与えることを示し、企業としても、それに迅速かつ柔軟に対応することがチャンスになると述べられました。

以上より、私たちの毎日の買い物が地域と世界と未来を変えるとまとめ、講演を終えられました。



写真3 加渡 いづみ氏のご講演

#### 5. 防災セミナー 鈴木 学氏

防災セミナーは、国土交通省四国地方整備局 道路部長 鈴木 学氏より、熊本地震における

インフラ復旧についてご講演を頂きました。

ご講演では、初めに熊本地震の概要を示されたうえで、地震発生から緊急復旧工事完了まで(地震後約1ヶ月で実施)、また白川の蓮台寺地区等を例に、地震発生から緊急復旧工事、本格的な復旧工事(地震後約1年で実施)について、専門家による委員会開催や、地域住民と一体となった取組みも交え紹介頂きました。また阿蘇地域の直轄復旧事業については、砂防事業、権限代行事業(道路関係)、57号北側復旧ルートについて、5切羽によるトンネル施工、そのずり出しに合わせた用地買収等、整備局、復興事務所、国総研、施工会社、PPPチーム、コンサルタント等々が一体となった、緻密なマネジメントと綿密なコミュニケーションによる、早期復旧に向けた強力な取組みを、具体的に示されました。進捗を広く知ってもらうこと、記録し記憶に残すことにも注力されたとのこと。

直轄が支援することで、熊本県が市町村を支援できるようになり、市町村が生活基盤の復旧等々にかかることができ、全体の早期復旧に繋がった点も、大きな成果であったとのことでした。



写真4 鈴木 学氏のご講演

#### 6. 懇親会

豊崎事業委員長の挨拶、菊池会計幹事の乾杯の音頭で祝賀会が始まり、約2時間の歓談の後、天羽防災委員長の中締めの挨拶で閉会しました。

#### 7. おわりに

今回はコロナ禍収まらぬ中、遅ればせながらWEB 配信に取り組み、一部予期せぬトラブルがあったものの、結果的に北海道、関東、中部地方等、幅広い地域の方にご参加頂けたことは、大きな収穫でした。